

第3学年 学級活動（人権）学習指導案

1 主題 共に生きる ～ 誇りうる生き方を求めて ～

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

同和問題をはじめとする、様々な差別を許さない生き方について考え、誰もが幸せに生きられる社会を築いていこうとする態度を育てる。

4 指導計画

人権講演会「人として生きる」・「同和問題の取組と課題」
（総合的な学習の時間）2時間

同和対策の変遷について学び、部落差別や様々な人権課題についての現状を考えさせ、理解させる。今なお残る部落差別に対して憤りをもたせ、同和問題を自分自身の問題としてとらえ、差別を解消していこうとする態度を育てる。

伝え合い高め合おう

- 生活記録（常時）
- フォーラム（常時）
- 学級活動

（学級活動）1時間

- ・学級や社会の出来事に関心を持ち、自分の考えを伝える。
- ・互いが気持ちよく成長し合える学級には何が必要か考え、実践していこうとする意欲を高める。

「もしも就職するならば？就職ダイヤモンドランキング」
（総合的な学習の時間）1時間

「あなたは社長！どんな人を採用したい？」・「社用紙」
（総合的な学習の時間）2時間

「これでいいの面接試験」 （総合的な学習の時間）2時間

「許せない就職差別」 （わたしの願い）（道徳科）2時間

本人の適性や能力に関係のない質問を見抜き、統一応募用紙指定の趣旨について理解させる。無関心や無理解が差別を助長していることに気付かせ、自分なりの行動をしようとする態度を養う。

人権意見発表会
（総合的な学習の時間）
2時間

様々な人権問題について一人一人が作文にまとめることで、自分を見つめ直し、さらに友達の意見を聞くことで、人権意識を高め、人権問題の解決に向けて自分たちに何ができるかを考えさせる。

「結婚について考えよう」 （総合的な学習の時間）1時間

「話してくれてありがとう」 （道徳科）・（学級活動）2時間

「真実の愛を求めて」 （総合的な学習の時間）1時間

結婚差別は当事者だけの問題だけではなく、社会全体の問題つまり、一人一人の心の中の問題として理解させる。自ら差別を許さない生き方について考え、誰もが幸せに生きていこうとする態度を育てる。

「現代と昔の部落差別」 （総合的な学習の時間）1時間

「誰もが幸せに生きられる社会をめざして」
（学級活動）2時間（本時2/2）

これまでの人権学習を通して、同和問題や様々な人権問題を解消するために自分たちにできることを考え、誰もが幸せに生きられる社会の実現のために、進んで行動する意欲と態度を育てる。

「人種差別について考える」
（社会科・英語科）2時間

黒人差別について理解し、歴史や差別と立ち向かった姿から、これからの生き方を考えさせる。

5 本時の学習

(1) 目標

これまで学習してきた同和問題を自分自身の問題として捉え、誰もが幸せに生きられる社会の実現のために、進んで行動する意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ 人権と差別

個人人権課題名 同和問題

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 これまでの部落差別に関する学習を振り返り、自分自身の変化や感じたこと、考えたことを発表する。	○「部落差別について」の語り合いから、部落差別に対する憤りをもたせる。 ①
誰もが幸せに生きられる社会にするために、何ができるだろう。	
2 差別がなぜ起こるのか考えさせ、班で話し合い発表する。	○差別の本質について考え、自分の中の差別心と向き合い、差別が一人一人の心にあることに気付かせる。 ②
3 不合理な差別をなくすために、自分にできることは何かを考え、発表する。	○誰もが幸せに生きられる社会とはどのような社会なのかを考えさせる。 ○自分の普段の生活を振り返り、自分にできることを考え、実践していこうとする意欲を高める。 ①②

(4) 評価

- ・誰もが幸せに生きられる社会の実現のために、自分にできることを考え行動しようとする意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】 ①
- ・友達の意見を受け止め、自分の考えを発表することができたか。 【技能的側面】 ②